



ハロウィンをきっかけに歯医者さんのネガティブなイメージについて考えてみました

愛知三の丸クリニック
歯科診療科医長 総山 貴子



今年もハロウィンの季節がやってきました。
歯が抜けたり揺れたり、虫歯になったり、ジャック・オー・ランタンのお口のようになっている人はいませんか？

歯医者さんは、『怖い』というネガティブなイメージをお持ちの方が多いのではないのでしょうか？
今回は、歯医者さんのネガティブなイメージについて書きました。



『ずっと通うことになる？』

治療が長引くのは、早めに歯科を受診しないことによるケースがほとんどです。

例えば「虫歯」。神経の管まで進行してしまうと、根の治療が必要になります。根の治療は何度も処置が必要ですので、普通の処置でも2～3ヶ月はかかります。「歯周炎」では、日頃の歯磨きが十分だと思っても、自覚症状のないままにいつの間にか進行しているケースが多々あります。ドラキュラのように歯茎から血が出る人や、ひどい人はジャック・オー・ランタンのように頬が腫れてしまうこともあります。これらを**早期発見、早期治療することで、短期間で治療することが可能になります。**



『痛い？』

これが歯医者さんに行きたくない一番の理由ではないのでしょうか？

痛い処置は、おそらくほとんどが局所麻酔をしなくてはならない処置です。

もちろん局所麻酔をしないともっと痛いのですが・・・。
局所麻酔をしないといけない歯科処置が必要な場合は、例えば・・・虫歯が神経の管の近くにまで進行している

- ・歯周病が進んで歯茎の奥底の歯石を取らなくてはならない
- ・歯を抜かなくてはならない など

お口の中の状態がかなり悪くなっていることがほとんどです。

極端ですが、廃墟のような状態のお口の中になってしまう人もいます。

つまり、**歯医者さんでの処置が痛い！と、いうのは、病状が進行してから処置を受けることによるケースが多いと考えられます。**



治療を長引かせないため、**歯医者さんを定期的を受診し、早期発見、早期治療することが重要です。**

そうすると、歯医者さんは、『痛い』『怖い』ところではなくなります。定期受診は、ご自身のセルフケアでお口の中が健康であれば、1年に1回で十分だと思います。まずは健診も兼ねて、受診してみてもいいでしょうか。

